

エコトピア



第8号

contents

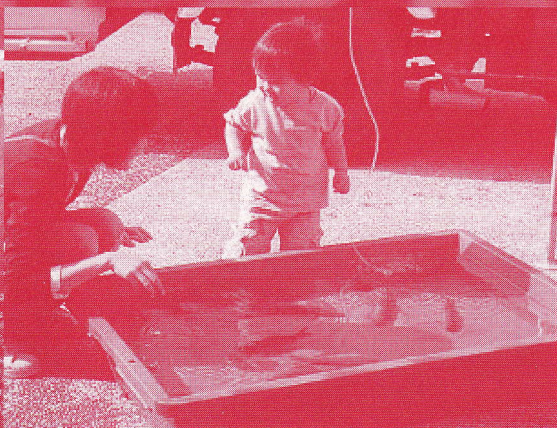
活動のご報告……………2
湖東地域環境シンポジウム

特集……………4
地域の取り組み

E-Column……………6

会員のすがお……………7
リサイクルステーション
「夢畑」

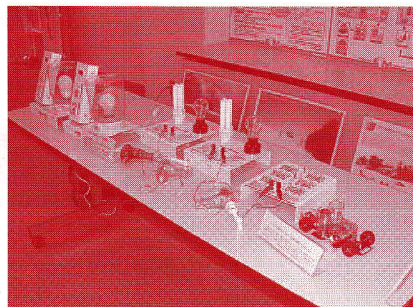
井戸端掲示板……………8



新しいことに挑戦していく

湖東地域環境シンポジウム

環境フォーラム湖東主催、WWF・プリチストンびわ湖生命の水プロジェクト共催で
開催した今年の「湖東地域環境シンポジウム」の様子を紹介します。



ワークショップ
 「子どもの頃の感動をもう一度～描こう夢のお魚マップ」
 コーディネーター：水野敏明氏
 (WWF・プリチストンびわ湖生命の水プロジェクト)

昔や今の水辺の生き物がたくさんいる(いた)場所を参加者全員で地図上に描き、将来の湖東地域の水環境を保全・復元するための話し合いをしました。
 成果をとりまとめ、これからの取組に活かしていきたいと思ひます。

ワークショップには、主に実際に水環境保全活動をしている方々が、20人ほど集まりました。

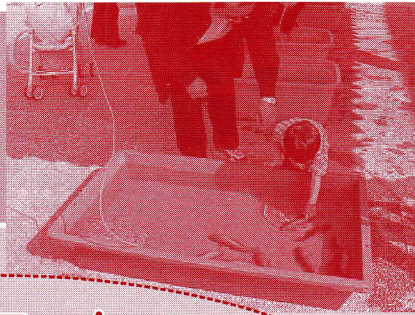
6班に分かれて、水生生物に注目して「守りたい水環境はどこか?」、ということで、「今」と「昔」について地図に、各班で記入して発表しました。

昔は、松原内湖や身近な小川にギギなどがいたことの発表があり、夢のお魚マップが描かれました。(水野敏明氏より)

体験コーナー
 ソーラーカープラモデルづくり・ロウソクづくり・
 ガラス細工づくり・木工教室

様々なものづくりを通して環境を考えました。昨年の数倍の参加があり、それぞれのものづくりを体験しました。参加者の感想は、とても楽しい、大満足などのほか、いっばいできなかったという声もありました。





ふれあいコーナー

魚のタッチプール・おもしろ自転車試乗会・
環境フリーマーケット・地場産農産物等展示即売・
環境こだわり米のポン菓子配布・外来魚試食会など

魚のタッチプールは、色ブナやうなぎ、ナマズを直接手で触れ、特に子ども達に大変好評でした。元気な子ども達に触られた魚たちはヨレヨレになってしまいましたご苦労様でした。

おもしろ自転車試乗会ではペロタクシーが新しく登場し、200人以上の人が試乗しました。

環境こだわり米のポン菓子は、一時百人近くの人が並ぶなど大好評でした。



情報交流コーナー

湖東地域で活躍している各団体の取組や成果などを報告し、お互いの情報交換を行いました。

その他、企業等による環境にやさしい商品や技術などの展示紹介を行いました。

スタンプラリー

交流センター内の5つのチェックポイントをさがして、すべてのスタンプを集めると環境関連商品が当たるくじ引きを行い、たいへん好評でした。同時に行ったアンケートも多くの人にご回答いただき、多くの意見をいただきました。



来場者の声

普段は捨てているものが、簡単に手作りして再利用できておもしろい。
初めてウナギとナマズにさわった。意外と柔らかいので驚いた。
自転車タクシーが実際に街中を走ると聞いて、環境に気がついている街だと感じた。
初めての体験ばかりですごく楽しかった。
環境を考えるには良い体験だと思います。
粉々のガラスをうまく利用して、きれいなガラス細工ができることがわかって良かった。
あまりリサイクルには関心がなかったが、これから気をつけたいと思う。
主婦の目から見て、とても楽しい企画でした。



地域の取り組み

～彦根プレーパークの会編～

環境のことを考えるとき、子どもたちの未来を考えることも不可欠です。そして、今、子どもたちの教育環境をめぐる、さまざまな問題が起こっています。いじめや学力低下、体力の低下などなど、多種多様の課題があります。

そこで今回は、地元に残っている自然を活用し冒険を通して、子どもたちを育む取り組みについて伺いました。

地域みんなで手作り！冒険遊び場プレーパーク

■プレーパーク始めました

狭い路地から急な坂をあがると、山と竹藪に囲まれた広場に出ます。ここは、彦根市野田山町にある「彦根プレーパーク(冒険遊び場)」です。彦根市に住む親子と地域の方と滋賀県立大学のボランティアサークル「ひなた」の学生さんとその卒業生が協力し合い、月に1～2回開催しています。

2000年の夏、彦根子育てネットワークの育児サークルの代表者や子育て支援者に「ひろがれ冒険遊び場」のビデオを紹介し、「冒険遊び場を作りたいが土地がない・・・」と声をかけました。すると、その場で、子育て支援者の一人から「1万平方メートルの土地を提供します」と思いもかけない申し出があ

り、一緒に始めることになりました。なくてはならない、トイレ、炊事場、電源は、隣接しているお寺の施設をお借りすることができました。そして、直後には、多賀創世塾第8期生サンサングの皆さんに、ボランティアでりっぱな倉庫まで建てていただきました。実は、そのメンバーの中に、当時の彦根子育てネットワークの代表者がいて声をかけてくれ、とんとん拍子にスタートしたのです。

■冒険遊び場って？

冒険遊び場は、子どもがのびのびと、思いっきり遊べるように、禁止事項をなくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、子どもが遊び場にある道具や廃材、自然の素材を使っ

て、自分のやりたいことを実現していく遊び場です。現在、全国で210を超える団体がありますが、滋賀県ではまだ数える程です。なかでも、彦根プレーパークは、お父さんやお母さんが自主的に運営にかかわっています。そして、地域のおじさんたちも、子どもと一緒に追いかけてっこをしたり、火の番をしたり、草刈など大変な作業もしていただき、感謝の気持ちで一杯です。また、学生さんたちは、「プレーリーダー」として、大変重要な役割を担い、子どもたちからも大人気です。「プレーリーダー」は、子どもの遊び心をさまざまな角度から刺激します。決して遊びの指導者ではないのです。





■プレーパークの様子

さて、山の頂上への探検は、ロッククライミングのような急な崖コース、ロープをたどっていける崖コース、竹藪からつながる山道コース、そしておさるさんも通る？道なき道がありません。ススキの葉をつかめば、手が切れます。一旦上ると、そう簡単には引き返せません。4段の崖を上りきっても、腰を低くして木にぶつかりながら、ようやく頂上にたどりつくのです。

ある2歳の男の子は、いつも下からみんなが上る姿をじっと見ていました。そして、「よし上るぞ」と決心をした1年後、お父さんと一緒に上って行きました。親は、思わず、「危ないからやめとき」「〇〇ちゃんが上らったで！あんたも、はよ～のほり～な！！」と言ってしまいがちです。しかし、それをぐっと飲み込んで、じっと見守り

ながら、子どもの意思を尊重する姿勢を大事にしています。

今年は子どもたちも一緒に頂上まで木を運び、木の枝にロープを張って作ったブランコや秘密基地が完成しました。家で、基地の設計図を描いていた子どももいました。

また、プレーパークでは、決められた場所で火も使います。ここでは、岩で囲んだ大きなカマド、七輪、五升釜、半ドラムがあります。カマドの中では、焼き芋、ウインナーやマシュマロをあぶって食べたり、廃材や竹やダンボールをただ燃やすだけでも遊びになります。ちょっとしたやけども経験しながら、子どもたちは「火」を肌で感じていくのです。

■冒険しましょう

プレーパークは、子どもだけでなく、実は大人も楽しんでい

ます。豊かな自然に囲まれ、おいしいスープをいただき、人と人が繋がっていきます。準備や後片付け、作業もあり大変ですが、言葉で言い尽くせない素晴らしいものがあります。

すでに、高校生になってしまった私の長女も、プレーパークで遊んだ日を振り返り、こんなことを書いてくれました。『竹藪の中に潜んで、ただひたすら遊び、時がたつのを忘れ、「生きている」という感覚を感じていた。あの頃には、どうしてもしなくてはならないことがある。

それは、人間を形作っていくための、大切な自分探しであった』と。

(文：中野 啓子代表)

子どもたちは野外での遊びを通して、体力をつけ、楽しみ方を学び、ひととの付き合い方を学び、ケガをしない方法を学び、自然について学んでいきます。

今の時代に合った、子どもたちの遊び場、遊ぶ機会の確保をすることが地域の大人の役割なのだと感じました。

冒険遊び場についてもっと知りたい人は…

特定非営利法人

日本冒険遊び場づくり協会

<http://www.ipa-japan.org/asobiba/>

樹木を育てることは 命を育てること

私が若葉小学校（彦根市）にかかわるようになって早いもので8年になります。当時の校長先生により、「当校には多くの樹木があるので、何か子どもたちに木に関する話をしてほしい」と依頼があったことから始まりました。

それはまさに総合学習が始まろうとしていた時期でもあったのです。そこで先生方と共に総合学習に若葉の森の木を取り上げることになりました。

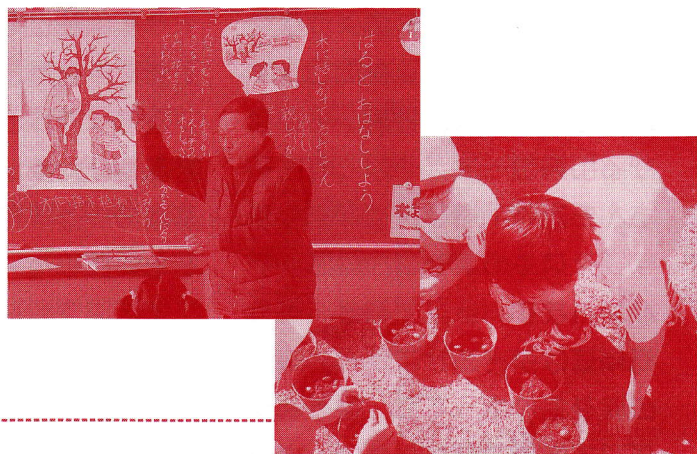
そこで先生方と相談しながら、教室から飛び出して現場で実際に樹木に接しながら学習できるような副読本「樹と友達になるレッスン10」を作り、校庭内の300本の木に名札を子どもたちと共に取り付け、樹木の名を知ることから始めました。身近な植物の名を知ることで、その植物に親しみを感じ、植物にかかわる色々な生き物たちの暮らし方や自然の仕組みがわかるようになるからです。

それから毎年4年生になると、「わたしの樹フレンド隊」の隊員となり、校庭や荒神山などで植物（樹木）の勉強をしてきました。

生物環境アドバイザー
樹医 渡邊輝世氏

さらに今年は、県の森林保全課でどんぐり小学校の募集がありましたので、応募しましたら選ばれましたので、10月から全校をあげどんぐりを育てることとなりました。

これはまさに私の信念である「樹木を育てることは命を育てること」を通じて、自分の心の内にも命の大切さ、尊さ、優しさを育てることができる信じ、子どもたちと共にどんぐりを育てております。これからも子どもたちと共に勉強したいと思えます。



大切なことを楽しく

約4年前に、環境問題を解決するために環境教育をおこなう「環境学び舎わのたね」という団体をつくりました。環境のことを考えて生活を送る人が少しでも増えることを目指して活動を行なっています。

はじめは、何も無い状態からのスタートでした。少しずつつながりをつくったり、主催事業などを行なって名前を知ってもらったりと、地道に活動を続けてきました。今では、講師の依頼も少しはいただけるようになってきています。

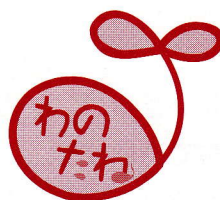
はじめた頃はなにもかもが新鮮で、楽しく活動をしていました。しかし、だんだんと仕事が増えると、面倒に感じたり、やらなきゃいけないと感じることもあります。活動を続けるためには、楽しく、活気に満ちていることが重要だと思います。

そこで、メールマガジンの発行などの新しい試みやメンバーの拡大などを行ない、楽しくよりよい

環境学び舎わのたね
三井直美氏
(環境フォーラム湖東 運営委員)

活動をしてくために、挑戦を続けています。

環境フォーラム湖東は今年が3年目になります。私は今年から運営委員として関わらせていただいています。よりよい団体として継続していくためには、新しいことへの挑戦も必要になってくると思います。これからの環境フォーラム湖東がよくなっていくように、みんなで楽しく活気ある運営をしていけるように、私にできることを精一杯行なって行きたいと思っています。



環境学び舎わのたね

<http://www.h7.dion.ne.jp/~wanotane>

彦根市・リサイクルステーション『夢畑』

リサイクルステーション『夢畑』活動内容

「要らない人から要る人へ」再利用の橋渡し。
具体的には次の諸活動を推進しています。

①エコマーケット（フリーマーケット）

月1回定期開催

種々のイベントに協賛開催も行います。

②生ゴミの堆肥化

県のモデル機の運転管理

リサイクルステーション（店）周辺の一般家庭の生ゴミを処理し、堆肥は肥料として希望者に分譲しています。

③古紙回収

リサイクルステーション（店）では、常時古紙（新聞、雑誌、段ボール、その他）の受入を行っています。

④不用品の再利用仲介

古着、日用品等の受入・提供を行っています。

リサイクルステーション（店）



平成10年グループ結成当時のメンバー



月1回はミーティング



雪の季節は松下電工体育館をお借りします



エコマーケットのホームグラウンドは大手前公園です



研修交流事業

のぞいてみよう身近な自然、まわりの環境

～親子でしめ縄作りに挑戦！～

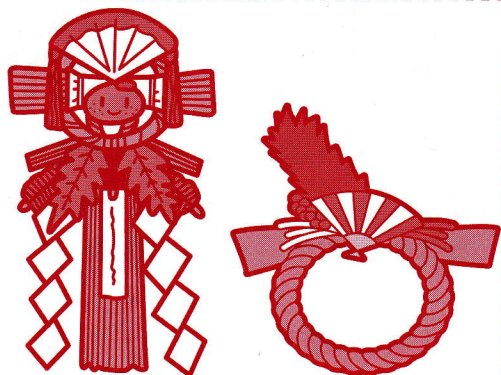
日時：2006年12月9日（土）

13時から17時まで

場所：荒神山少年自然の家

共催：環境フォーラム湖東
彦根市PTA連絡協議会

彦根プレーパークの会 代表
中野啓子氏の講演のあと、しめ縄づくり教室を行います。



■ 新規会員募集中

環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています。

すでに環境に関する活動をされている方や、ちょっと勉強してみたいという方、企業・市民団体のみなさんまで、どなたでも参加していただけます。

まずはお気軽に、下記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。

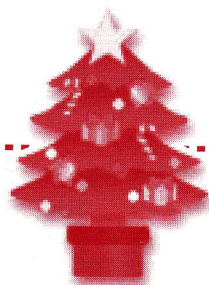
■ 会員の皆さんへ

環境フォーラム湖東ではみなさんからの情報をお待ちしております。

イベント情報や普段の活動の様子などを情報交流誌「エコトピア」または、「フォーラム通信」、ホームページに掲載いたしますので、「他の人にも伝えたい」という情報がございましたら、下記事務局までご連絡ください。

■ 広告掲載を希望される方へ

本誌に広告を掲載して下さる方を募集しております。詳しくは下記 事務局までお問合せください。



環境フォーラム湖東 事務局

- 〒522-0071
- 彦根市元町4-1 湖東地域振興局環境課内
- TEL 0749-27-2255
- FAX 0749-27-1688
- URL <http://www15.ocn.ne.jp/~foramkot/>
- E-mail dc43@pref.shiga.lg.jp

編集後記

湖東地域環境シンポジウムに参加して下さった皆さんありがとうございました。楽しみながら少しでも環境のことを考えるきっかけをつくる。そんな活動が重要ですね。（山田）

- 発行 環境フォーラム湖東
- 編集責任 環境フォーラム湖東広報部会
- 平成18年12月発行

琵琶湖と出会うコレクション

www.biwako-collection.jp/

世界屈指の古代湖琵琶湖の豊かな自然環境がはくむ生き物をテーマに、湖国滋賀の魅力を表現した「琵琶湖コレクション」。思い出や感動はいつでもコレクションと共に…

KINTO & Co.
The Pioneers of The World of Tableware.

株式会社キントー
URL <http://www.kinto.co.jp>

現在を知り、
未来を創造する
— 環境分析を通じて、地球の現在を映し出す —



Spirits of NATSUHARA
夏原工業株式会社

〒522-0201 彦根市高宮町2688-1

TEL 0749-26-3272 FAX 0749-26-0262

URL <http://www.natsuhara.co.jp>

- アスベスト測定分析業
- 厚生労働大臣水質検査登録機関
- 環境大臣土壌汚染指定調査機関
- 環境計量証明事業
- 作業環境測定機関